

精神看護学概論

ナンバリング:N2-S1-I01

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

精神的な健康の問題を抱えている人を、ただ精神障害者と規定せずに、その人に固有な生活の文脈から理解する。看護師は自らをケアの提供者として最大限に生かしながら、患者と家族にかかわることを学修する。患者と家族の生活史や家族背景、地域の文化や環境が与える要因を把握し、患者の言動の持つ意味を多面的に理解する。その理解のために人格の発達と病理、精神と身体、家族、集団および社会のダイナミクスについて学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

・精神の健康と障害に関する理解の深化: ストレス理論、危機理論、精神力動理論、対象関係論、漸進的発達理論を含む様々な理論を用いて、精神の健康とその障害についての理解を深める。これには心の機能、人格の発達、及び精神疾患の特徴と症状の理解が含まれる。
・リハビリと支援の理解: 精神障害の生きにくさを認識しつつ、リハビリ過程におけるレジリエンスやストレングスの重要性を理解し、「その人らしく生きる」ことへの支援の必要性を学ぶ。これには精神障害者の生活支援方法の理解と応用が含まれる。
・精神保健医療福祉に関連する法律、社会制度の理解: 精神保健医療福祉に関連する法律、社会制度、歴史の変遷を学び、精神障害者の権利擁護と精神保健福祉に携わる者の倫理観について深く理解する。これには精神障害の社会的、文化的側面と公衆衛生の観点からの理解が含まれる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SB0)

1. 精神看護学の理解と説明: 精神看護学の基本概念と目的を説明できる。
2. 心のはたらきと人格の形成の理解: 心の機能や人格の発達についての知識を深め、これらを説明できる。
3. 精神保健の考え方の理解: 精神の健康と障害に関する基本概念とストレスやトラウマの影響を理解し、それらを説明できる。
4. 人間関係のシステムの理解: 人間関係のダイナミクスを理解し、家族や集団における関係性の影響を具体的に説明できる。
5. 精神疾患の理解: 精神疾患の症状や状態像を理解し、それらを具体的に説明できる。
6. 精神科治療の理解: 精神療法、薬物療法、電気けいれん療法、作業療法などの精神科治療法について、その目的、適応、特徴を理解し、具体的に説明できる。
7. 精神障害の社会的・文化的側面の理解: 精神障害の歴史的、法制度的、文化的側面を理解し、それらの側面が精神障害の理解に与える影響を説明できる。
8. 精神障害と法制度の理解: 精神障害者を支える主要な法制度について、その目的や内容を理解し、これらが精神障害者の権利保護や生活の質の向上にどのように寄与するかを具体的に説明できる。

・授業日程

【講義】

会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/10 木 3限	【授業内容】精神看護学の導入 ・精神看護学の基本概念と目的が説明できる。 【関連するSB0】1 【事前学修:30分】精神看護の基礎:第1章「D.精神看護の課題、②世界から見た日本の精神医療の課題(p12-19)」を事前学修シートに要約する 【事後学修:30分】授業内容の振り返りを事後学修シートに記載する	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授

5/9 金 2限	【授業内容】心のはたらきと人格の形成 ・心の機能や人格の発達についての知識を深め、これらを説明できる。 【関連するSB0】2 【事前学修:30分】基礎:第3章「B.心のしくみと人格の発達、②意識と無意識(p83-90)」の要約 【事後学修:60分】授業内容の振り返り	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授
5/20 火 2限	【授業内容】精神保健の考え方 ・精神の健康と障害に関する基本概念とストレスやトラウマの影響を説明できる。 【関連するSB0】3 【事前学修:30分】基礎:第2章「B.心身の健康に及ぼすストレスの影響(p31-38)」の要約 【事後学修:60分】授業内容の振り返り	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授
6/2 月 4限	【授業内容】関係のなかの人間 ・人間関係のダイナミクスを理解し、家族や集団における関係性の影響を説明できる。 【関連するSB0】4 【事前学修:30分】第4章「C.人間と集団、③全体としてのグループ(p137-141)」の要約 【事後学修:60分】授業内容の振り返り	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授
6/5 木 4限	【授業内容】精神科疾患のあらわれ方 ・精神疾患の症状、状態像について学び、疾患の影響を説明できる。 【関連するSB0】5 【事前学修:30分】基礎:第5章「精神症状論と状態像、②さまざまな精神症状(p150-162)」の要約 【事後学修:60分】授業内容の振り返り	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授
6/13 金 2限	【授業内容】精神科での治療 ・精神療法、薬物療法、電気けいれん療法、作業療法について学び、それぞれの治療法の目的と適応を説明できる。 【関連するSB0】6 【事前学修:30分】基礎:第6章「C.薬物療法、②向精神薬とその種類:②抗精神病薬(p268-275)」の要約 【事後学修:60分】授業内容の振り返り	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授
6/17 火 2限	【授業内容】社会のなかの精神障害 ・精神障害の歴史的、法制度的、文化的側面を理解し、それらの側面が精神障害の生活や、回復プロセス、社会的位置づけに与える影響を説明できる。 【関連するSB0】7 【事前学修:30分】基礎:第7章「B.日本における精神医学・精神医療の流れ、④1980年代以降の人権擁護に関する動き～⑥精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム(p317-322)」の要約 【事後学修:60分】授業内容の振り返り	地域包括ケア講座 高崎 邦子 講師
6/26 木 3限	【授業内容】精神障害と法制度 ・精神障害者の権利保護に関する法制度について学び、精神保健福祉法、障害者基本法などがどのように精神障害者の生活や治療に影響を及ぼすかを説明できる。 【関連するSB0】8 【事前学修:30分】第7章「E.精神障害と法制度、①精神看護における法律:④精神障害者の保健医療福祉制度の基盤となる2つの法律～②精神看護領域に必要な法律と制度:①権利擁護に関する法律と制度(p339-348)」の要約 【事後学修:18.5時間:1,110分】授業内容の振り返り(60分)+授業で触れられなかった重要事項の学修(17.5時間:1,050分)	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授

・教科書・参考書等

	書籍名	教:教科書 著者名	参:参考書 発行所	推:推薦図書 発行年
教	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1]精神看護の基礎 第6版	武井麻子	医学書院	2021
教	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2]精神看護の展開 第6版	武井麻子	医学書院	2021

・成績評価方法

【総括的評価】 定期試験(多肢選択)70%とPortfolio評価(初回授業時にルーブリック評価表を提示する)30%の合計100%にて評価をする。 【形成的評価】 各授業において習得度チェック(国試問題等を使用した確認試験)を行い、学生の理解度を確認しながら授業を行う。

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

・各授業の最後に行う習得度チェックについては、授業内に解答・解説を行う。

・リアクションペーパーは、次回の授業においてコメントをするなどしてフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3):専門分野 精神看護学

【その他】事前・事後学修は、Portfolioにまとめる。

各回講義の中で、テーマに基づくディスカッション(グループワーク等)の機会を設け、またはICTの利用によるアンケートフォーム(CustomForm®)を通して、学生の理解度を確認しながら講義を進行する。

授業で触れられなかった重要事項は、各授業の終了時に伝達をする。

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

精神科における臨床経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を豊富な実践経験を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	スマートフォンまたはタブレット	1	Webアンケート